

1社の労働災害撲滅は、業界の職場環境を改善し、未来に繋がる日本の社会を生み出す

## 第12次労働災害防止計画 最終年にあたつての

# 全業種にわたる 労働災害防止推進運動実施について

我が国の労働災害は、官民あげての絶え間ない労働災害防止活動の推進により、死亡災害が最多であった昭和36年の6712人が、平成27年に85・5%減少の972人となる等劇的に減少いたしました。

しかし、平成21年以降、度数率は横ばい状態であり、平成22年以降、千人率と労災保険新規受給者数は増加しています。

構築の契機とするため、以下の事業主団体を構成団体とし、労働災害防止推進運動協議会を立ち上げ、全業種にわたる労働災害防止推進運動を展開する運びとなりました。

### 1. 推進母体

(1) 名称 労働災害防止推進運動協議会

(2) 構成団体等 名古屋北労働基準監督署、(一社)名北労働基準協会、建設業労働災害防止協会愛知県支部名古屋北分会、(一社)春日井建設協会、(一社)日本ボイラ協会愛知支部、(一社)日本クレーン協会東海支部、(一社)愛知県トラック協会、(一社)愛知県警備業協会、(一社)愛知ビルメンテナンス協会、(一社)名古屋市医師会、(一社)小牧市医師会、(社)

(3) 活動期間 平成29年5月1日～平成30年1月31日  
2. 活動内容  
(1) 各業界団体への労働災害防止推進運動実施要請文の発出  
(2) 労働災害防止推進運動実施要項の作成  
(3) 労働災害防止推進運動協議会の開催3回  
(4) 会員への実施要請文、実施要項の配布  
(5) 会員への情報提供  
(6) 会報への労働災害削減目標、発生現在数の掲載  
(7) 労働災害防止推進運動決起大会の開催

### 3. 労働災害防止推進運動 決起大会

このような状況の中で、本年は第12次労働災害防止計画の最終年にあたり、目標として掲げる平成24年と比較して、平成29年までに死亡者数と休業4日以上の死傷者数を15%以上減少させるためには、全ての事業場が労働災害防止体制とその手法を見直し、更なる活動を進めることができます。

そこで、第12次労働災害防止計画の最終年を、企業にとっても労働災害防止活動の再

安全衛生課長、レゴランドジャパン建設工事安全衛生活動の紹介、日本初進出のテーマパークの安全施工をめざして（株）大林組名古屋支店 レゴランド工事 横田事務所長、

労働劇DVD上映 「波紋」、労働災害絶滅の誓い「労働災害防止推進運動協議会各委員（詳しくは本誌同封案内をご覧下さい）

## 4. 名古屋北労働基準監督署の労働災害発生状況と削減目標 (件)

業種	平成24年確定値	平成28年		平成29年目標値	平成29年第一四半期		平成28年第一四半期速報値
		目標値	確定値		目標値	速報値	
製造業	204	179	202(1)	173	35	33(1)	26
建設業	78	68	87	66	13	20(2)	9
運輸交通業	146	128	154	124	25	18	21
貨物取扱業	30	26	29	26	5	1	7
商業	158	139	143	134	27	28	21
保健衛生業	48	42	81	41	8	3	13
接客娯楽業	49	43	83	42	8	5	5
清掃・ビルメン業	92	81	78	78	16	16	18
その他の事業	150	132	146(2)	127	25	23	22
合 計	955	838	1003(3)	811	162	147(3)	142(0)

※平成29年において、労働災害による死傷者数（休業4日以上）を15%以上減少させる

（注意）業種により時期や発生頻度が異なるため、四半期ごとの目標値に変動があります。（ ）内は死亡者数で内数